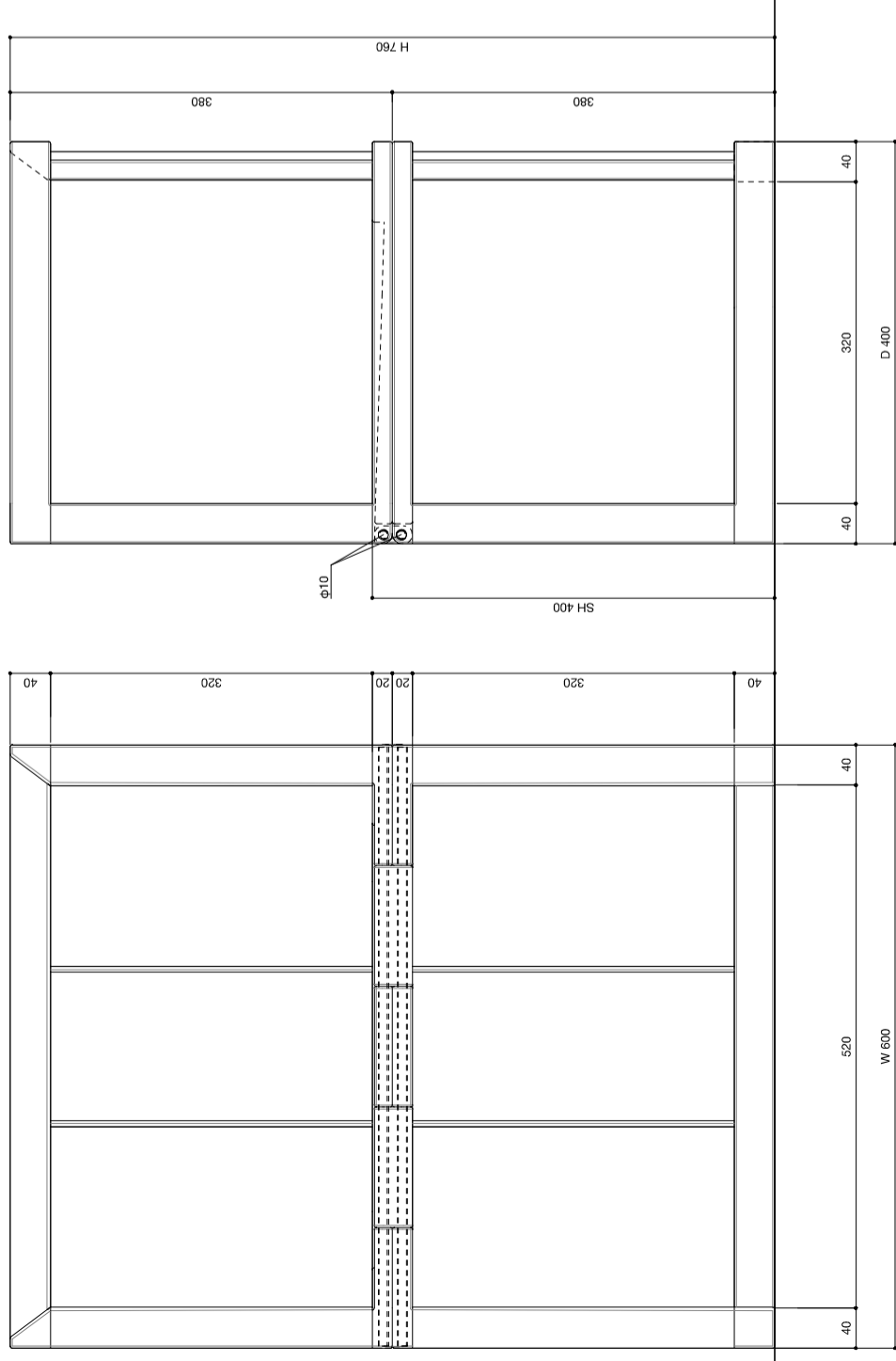
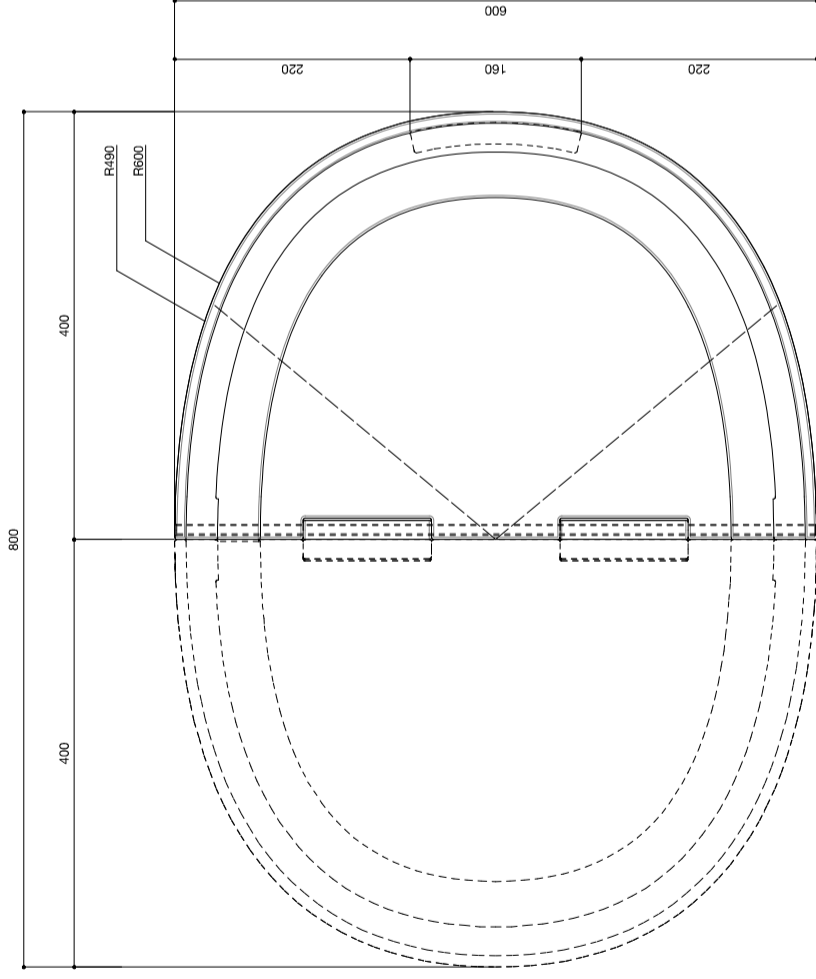


Tatami chair / table

Drawing Scale = 1/5

材種:スギ/ヒノキ
仕上:ソープアイニッシュ

フレーム座面共に無垢材で、二つのヒンジ部材で上部と下部を連結している。背もたれを前に倒すと座卓として使うことができる。座面は10mmの座揺り加工が施されている。ヒンジ部材も無垢材で、側面から丸棒を貫通させ、木栓で蓋をしている。縁は全て2Rで面取りし、R背もたれと脚のカーブは曲げ加工想定だが、加工が難しければスカーフジョイントにて三分割で成型。



京都には景観条例があり、古い町屋でもリノベーションして住宅や店舗として活用され、畳を敷いた和室も多く残っています。畳の上では基本的に床座ですが、腰や膝が悪い人には姿勢が負担になる場合もあり、椅子が急遽必要になることがあります。

そこで、普段は座卓として使用し、必要な時にだけ折り畳むことで椅子になり、畳も傷つけないプロダクトをデザインしました。ヒノキやスギは障子の棧として使われているので、和室で使える同じ樹種の椅子があれば、空間全体として調和するのではないかと考えました。

Tatami chair / table

